

科目名	基礎デザイン実習A						年度	2025	
英語科目名	Design theory 1						学期	前期	
学科・学年	デザイン科 プロダクトデザイン専攻 1年次	必/選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	堀越拓水		教員の実務経験	有	実務経験の職種	デザイナー			
【科目の目的】 この科目では、学生が「プロダクトデザイン／インテリアデザイン」の基礎スケッチワークを学び、造形の理解力、表現力、コミュニケーション能力を理解し学ぶ事で、社会で活躍する為に必要な技術力と知識を向上させること。課題をこなすことで段階的に理解しスキルを向上してデザインスケッチワークができるようになることが目標です。									
【科目の概要】 この授業では、教科書に沿って講師から解説を受けます。スケッチ道具の使い方から描き方を段階的に学び、基礎のスケッチワークを実習する授業です。講師からのデモンストレーションから学びを深め[プロダクトデザイン／インテリアデザイン]の「デザインスケッチワーク」を育成していく、この授業に主体的に参加する学生が技術力、表現力を向上し自分自身で活用するように目指すこと。									
【到達目標】 目標A 道具の使い方からモノの見方（観察）を理解する 目標B デッサン表現を理解し、対象を描写ができる 目標C デッサンから造形的能力を高めることができる									
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度には厳しく対応する 理由のない遅刻・欠席は認めない 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A	道具の使い方からモノの見方（観察）をよく理解する		道具の使い方からモノの見方（観察）を理解する			道具の使い方からモノの見方（観察）を理解できない			
到達目標 B	デッサン表現を理解し、対象を描写がよくできる		デッサン表現を理解し、対象を描写ができる			デッサン表現を理解し、対象を描写ができない			
到達目標 C	デッサンから造形的能力を高めることができる		デッサンから造形的能力を高めることができる			デッサンから造形的能力を高めることができない			
【教科書】 毎回授業にて資料配布を行う									
【参考資料】 参考資料等は授業中に指示をする									
【成績の評価方法・評価基準】 課題提出 70% 授業態度 10% 出席 20% 授業態度 10%									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		基礎デザイン実習A			年度	2025	
英語表記		Design theory 1			学期	前期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	「手」のデッサン	デッサン用道具の理解	1	道具の使い方1	道具の使い方と注意事項を学ぶ		
			2	道具の使い方2	道具に慣れる。		
			3	道具の使い方3	鉛筆の削り方、練り消しゴムの使い方を学ぶ		
2	「手」のデッサン	デッサン用道具の理解	1	道具の使い方4	道具の使い方と注意事項を学ぶ		
			2	道具の使い方5	道具に慣れる。		
3	「立方体」のデッサン	パースの理解と描き方	1	立方体をを観察し描く	立方体の陰影の描き方		
			2	3点通し図法の理解	3点通し図法の理解と描き方 No. 1		
4	「立方体」のデッサン	パースの理解と描き方	1	立方体を観察し描く	立方体の陰影の描き方		
			1	3点通し図法の理解	卓上に置いてある立方体の影の描き方の理解		
5	「円柱」のデッサン	パースの描き方	1	円柱を観察し描く	楕円の描き方の理解		
6	「円柱」のデッサン	円柱の陰影の描き方	1	円柱を観察1	円柱の陰影の描き方の理解		
			2	円柱を観察2	卓上の円柱の影の描き方の理解		
7	ティッシュボックス	パースの描き方	1	3点通し図法1	ティッシュボックスのパースの描き方に理解 N o. 1		
			2	3点通し図法2	グラフィックの描き方の理解		
8	ティッシュボックス	グラフィックと陰影の理解	1	グラフィックの描き方	ティッシュボックスのグラフィックと陰影の理解		
			2		材質の観察と表現力		
9	「缶」のデッサン	楕円のパースの理解	1	缶のパース	缶のパースとグラフィックの描き方の理解 N o. 1		
10	「缶」のデッサン	楕円とグラフィックの理解	1	缶のグラフィックと陰影	缶のグラフィックと陰影の描き方の理解 N o. 2		
			2	陰影	卓上に置いてある缶の影の描き方の理解		
11	「建物」のデッサン	立方体のパース応用	1	建物のパース描き方	建物のパース 理解と描き方 N o. 1		
12	「建物」のデッサン	建物の陰影の描き方の理解	1	パースの描き方	建物のパース、陰影を理解し描く N o. 2		
			2	材質	材質の描き方		
			3	陰影	影の描き方の理解		
13	「動物」のトレース	細密描写の描き方の理解	1	動物の写真をトレース	動物の写真をトレースし、形と色の濃淡を描き分ける。 N o. 1		
			2	細密描写	細密描写の描き方の理解		
14	「動物」のトレース	描写力向上	1	トレース後さらに描写する	トレースされた動物画をさらに描写し、完成させる。 N o. 2		
			2	原本を見ながら描写	線、色の濃淡を原本見ながら再現する		
15	歯ブラシのデッサン	パースと描写力の向上	1	歯ブラシを描く	歯ブラシを観察し、パース、材質を描き分ける。		
			2	パースと材質の描き分け	ブラシの部分は細密描写を意識して描く。		
			3	陰影描き方の理解	影の描き方の理解		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等